

Soudanshitsu-dayori 相談室だより

令和5年9月5日発行 第433号

公益財団法人井之頭病院理念「患者様の権利尊重」
基本方針1. 人権を尊重した医療の提供
2. 誠心、誠意、誠実をこめた奉仕
3. 社会復帰促進とノーマライゼーションへの援助

発行：井之頭病院相談室 0422-44-5331(代)
〒181-8531 三鷹市上連雀 4-14-1
URL <https://www.inokashira-hp.or.jp>

当院を利用されているご家族向けの催し

対象：当院を受診したことがある方のご家族

当院の医師や精神保健福祉士による有料相談に来られたことがあるご家族

注意：当日は感染症対策のため、マスクの着用・手指消毒・検温等にご協力をお願いします。

当日37℃以上の発熱がある場合にはご参加いただけません。

要予約 予約制（各回定員があります） 当院2号館1階4番相談受付窓口に来院、または電話で各担当までお申込みください。参加方法をご案内いたします。（☎0422-44-5331 代表）

ご参加お待ちしております
しております



【つながろう 家族のための わいわ会】

オンライン(Zoom)と対面

要予約

統合失調症等の治療や支援、ご本人との付き合い方について一緒に学び合う場です。1クール5回シリーズ。前日16時までにご予約ください。

日時：9/30(土) 10:00~12:00 原則毎月最終土曜日

テーマ：『私らしく暮らす

～暮らしに役立つ福祉サービス～』

講師：当院精神保健福祉士

内容：各回、講義と質疑 定員：各回、対面9名まで

費用：無料 テキスト（5回分含）をご希望の方は相談窓口（4番）で販売（500円税込み）

次回の予定：11月25日(土) ※10月はお休みです

テーマ：病気の理解『統合失調症って何?』

講師：当院医師

【家族セルフヘルプグループ かけはし】 対面開催

家族による家族のための相談例会です。

ご予約の上、ご来院ください。

日時：9/9(土) 14:00~15:30 毎月第2土曜日

定員：14名まで

要予約

【家族懇談会】 対面開催

ご家族の日頃の悩みや気になっていることについてスタッフも一緒に考える場です。ご家族自身の気持ちを話したり、他のご家族の体験談を聞き、その中でご家族自身の気持ちを整理したり、つながりを感じていただければと思っています。

日時：9/30(土) 14:00~15:30

（13:45受付開始）※原則毎月最終土曜日

定員：12名まで

要予約

【認知症家族会】 対面開催

要予約

日時：10/21(土) 10:00~11:30 偶数月 第3土曜日

内容：ご家族に認知症の方がいらっしゃる方々が集い、気持ちを話したり、情報交換を行う場です。

費用：無料 場所：1号館1階 喫茶「いこい」（1号館に入る前のガラス張りのお部屋です）

お申込み・問い合わせ：入院されている病棟の副師長、または外来副師長。お申込みの上直接会場へお越し下さい。

アルコール依存症関連



【アルコール家族教育プログラム】 対面開催

ご本人の回復に役立つ、アルコール依存症に関する講義です。講義内容によって、医師・精神保健福祉士・看護師等が講師を務めます。 ※毎月第1・第3・第4土曜日開催

日時：9/2(土) 10:00~11:10

内容：アルコール依存症とその治療について
(担当：医師)

日時：9/16(土) 10:00~11:10

内容：アルコール依存症からの回復と社会資源
(担当：精神保健福祉士)

9/23(土)はお休みです

アルコール依存症関連プログラムは、すべて対面開催。

会場：当院3号館1階 アルコールデイケアホール

直接会場へお越しください。予約不要です。

【アルコール家族ミーティング】 対面開催

ご家族自身の気持ちを整理し、ご本人との関係を見直すことを目的としています。ご家族同士のつながりのなかで癒されることを実感していただいています。

日程：9/2(土)・16(土)

時間：11:15~12:00

※毎月第1・第3・第4土曜日開催

9/23(土)は
お休みです

アルコール講演会・交流会のご報告

7月27日、アルコール支援関係者向けに、「アルコール講演会・交流会」を開催しました。昨年度はオンラインのみでしたが、今年度は来場とオンラインのハイブリットで開催することができました。

当日は、当院の前アルコール症センター長本多恒治医師による講演「自身の治療経験を通じて皆様に伝えたいこと」に続けて質疑応答を行い、その後来場された方々と交流の場を設け、最後に希望者にはアルコール依存症治療病棟の3病棟とアルコールデイケアの見学をしていただきました。

参加者は、保健所、医療機関、依存症回復施設、障害福祉サービスの事業所、地域包括支援センター、断酒会などから、来場27名、オンライン44名でした。埼玉県や神奈川県の関係機関からも参加があり、アルコール依存症の治療と支援に対する関心の高さを感じました。当院からも20名ほどのスタッフが参加し、熱心な参加者から大いに刺激をうけました。

本多医師の講演では、アルコール依存症の治療の難しさと地道に取り組んでいくことの大切さ、支援者自身が孤独にならないことなど、臨床に取り組む支援者が日頃感じていることを言葉にいただきました。質疑応答では、一般科病院からアルコール依存症の治療につなげる動機づけや方法について、高齢や認知機能が低下したアルコール依存症患者への治療や支援について、飲酒しない生活支援のコツなど、事前にいただいた質問に答えるほか、当日の参加者からの質問もお受けしました。

昨年度は参加者同士が交流する機会をもてなかった反省を踏まえ、今年度は感染対策をしたうえで、来場者と一言メッセージを行いました。短時間でしたが、お互いの熱量を感じながら、各々の機関の取り組みや思いを知ることができたことは、支援者にとって、今後の活力につながるものでした。一般科の医療機関からアルコール専門医療機関へつなげる難しさや、家族相談から本人の受診につなげるまでに時間を要することなど、課題も共有されました。お互いを知り、課題を知ることから、自分たちにできることは何か考える機会になるのだと、あらためて感じました。

久しぶりの対面での集まりを有意義なものに感じてくださった参加者がいたこと、積極的にアルコール依存症の治療に取り組んでいる方々のお話を聞くことができたこと、お互いの関係を築くことで、難しいと感じていることでも解決策が生まれるかもしれないという希望を持てたことは、今回の講演会・交流会を開催した大きな成果です。当院は、アルコール専門医療機関として、受診前の相談、外来治療、デイケア、入院治療を提供しています。飲酒に問題を抱える方が、早期に治療につながることや、治療後も健康を維持し生活していくためには、周囲のアルコール依存症に対する理解と継続的な関わりが大切です。当院のみでできることは少なく、地域の関係機関との連携が必要です。日々の治療や支援に真摯に取り組むとともに、今回のような講演会や交流会をきっかけに、その土壌を育む一助になりたいと強く思いました。

(アルコール症センター 精神保健福祉士 中村)

当院のアルコール依存症相談、治療のご案内

<外来診察> 平日 9:00~12:00 受付 (初診: 予約不要 / 再診: 予約制)

<電話での受診・入院相談> 平日 9:00~17:00 受付 問合せ先: 地域連携室

<医師による受診・入院相談 (ご家族対象)> 平日 9:00~12:00 受付 (予約不要) 費用: 5,000 円

<精神保健福祉士による受診・入院相談 (ご家族対象)> 事前予約制 費用: 3,000 円

<家族教育プログラム・家族ミーティング> 当院に受診歴がある方のご家族または相談歴のあるご家族が対象の家族支援プログラムです。相談室日より1面をご覧ください。

詳しくは当院ホームページをご確認ください。





精神保健福祉士

井之頭病院では、様々な職種のスタッフが勤務しています。この職種には「どのようなことが相談できるのかな?」「何をしているのかな?」など、思ったことはありませんか。

今月は、相談室だよりの発行も行っている「精神保健福祉士」の紹介です。

皆さんは「精神保健福祉士」をご存知ですか? 井之頭病院では、皆さんから「ワーカーさん」、「ソーシャルワーカー」、「相談員さん」、「PSW (Psychiatric Social Worker)」など様々な呼び方で呼ばれています。

精神保健福祉士は、1997年に国家資格化された精神保健福祉領域のソーシャルワーカーです。現在は10万人以上の登録者がおり、医療機関だけではなく障害福祉サービス等事業所や行政機関、司法施設等にも配置されています。国家資格化されたのは1997年ですが、1950年代より精神科医療機関を中心に精神科ソーシャルワーカーが配置されていました。井之頭病院で精神科ソーシャルワーカーが初めて採用されたのは1960年で、それ以降徐々に人数が増え、現在は25名が所属しており、全員が精神保健福祉士として、以下の部署に配属されています。

連携相談センター

◎相談室 (12名)

主に病棟業務や、家族支援プログラム、啓発活動を行っています。病棟業務では、退院後生活環境相談員として選任を受け、入院中の患者さんやご家族の相談をお受けしています。患者さんのご希望に基づき、院内の多職種や地域の関係機関等と連携しながら、退院や療養上の生活の支援を行っています。

◎地域連携室 (7名)

主に、地域関係機関や患者さん、ご家族からの受診・入院の依頼、相談の窓口として対応し、患者さんが必要な医療を受けられるように支援を行っています。また、通院中の患者さんやご家族を対象に、経済問題、就労問題、療養上の問題等について相談をお受けしています。

デイケア部

◎デイケア (5名)

多職種で構成されたチームで、利用者様の生活の質の向上、再発予防を目的としたリハビリテーションプログラムを提供しています。福祉専門職として、他の専門職や地域の支援者と連携し、生活支援・就労支援・健康管理支援等を行っています。

◎アルコールデイケア (1名)

利用者様が安全に断酒をしながら心身の回復を図れるよう多職種チームで支援を行っています。また、アルコールデイケア卒業後の就労や社会参加に向けた支援を地域の支援者と連携しながら行っています。

私たち精神保健福祉士は、患者様のご希望や想いに寄り添いながら、支援を行っています。心配な事や困っている事などがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

(地域連携室 馬場)





催し物のご案内

第15回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと 埼玉大会 ～家族任せにしない社会に～

上記大会の開催趣旨は、『精神障害者への誤解・偏見を超えて、家族まかせにせずに当事者と家族が当たり前で生きていける地域社会を目指し、具体的な体験や実践を通して、参加者とともに考える場としたい』というものです。この大会は、オンライン（zoom）併用で開催されます。

「精神障害者の家族がいる」、「同じような境遇の方と知り合いたい」、「精神障害者の当事者やその家族が当たり前で生きていける地域社会を目指したい」という方向けのイベントです。

詳細はこちらからも
確認できます→



日時：2023年10月14日（土）～10月15日（日）

会場：Rai Boc Hall（市民会館おおみや）埼玉県さいたま市大宮区大門町2-118 大宮門街4-8F

主催：（公社）全国精神保健福祉社会連合会（みんなねっと）、埼玉県精神障害者家族会連合会（のぞみ会）

※「みんなねっと」とは、精神に障がいのある方のご家族が結成した団体（全国組織）です。

参加費：3,000円（家族・一般） 1,000円（当事者・学生）

参加申し込み及び支払い方法：原則「Peatix（ピーティックス）」で受付。※全体会・分科会の参加は事前登録制です。

▼大会の詳細は下記サイトをご参照ください

オンライン参加申込サイト：<https://saikarenminnanet.peatix.com>

みんなねっと：<https://seishinhoken.jp>

問合せ先：048-825-7172（火～金 10:00～16:00）



第65回 湧水会 中止のお知らせ

令和5年9月23日（祝・秋分の日）に予定しておりました第65回湧水会は、新型コロナウイルスの影響を鑑み、中止とさせていただきます。



自立支援医療制度をご存知ですか？

「自立支援医療」とは、統合失調症、そううつ病、うつ病、アルコール依存症等について、通院医療の際にかかる医療費の一部を公費で負担する制度です。利用すると、自己負担額は保険診療の1割となります。（注：登録した医療機関や薬局、訪問看護ステーションに限ります。なお、当院は院外処方です。）また、対象者の「世帯」の所得等に応じて1ヶ月の自己負担の限度額が設定されており、さらに、都内在住の方は、「世帯」が非課税の場合、申請により自己負担額がゼロになります。更新は1年ごとで、2年に一度診断書の提出が必要になります。当院での診断書料金は5,500円（税込み）です。お住まいの自治体によって、独自に診断書料金の助成が受けられる場合があります。

心身障害者医療費助成制度（マル障）をご存知ですか？



精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方（※）は、申請により「マル障」が利用できます。「マル障」を利用すると、医療機関での（精神科以外でも）外来・入院にかかる保険診療の自己負担が1割となり、住民税非課税の方は自己負担が免除となります（ただし、入院中の食事療養費は対象外）。更新の手続きもお忘れなく！

※所得が基準額を超える方、生活保護受給中の方、65歳までに手帳の申請をしなかった方は対象外です。

編集後記：暑さが続き、日本は夏と冬の二季になってしまいそうですね（み）

次号は10/5発行予定



ホームページでも相談室だよりの最新号やバックナンバーをご覧いただけます

井之頭病院ホームページより「精神保健福祉相談」→ 相談室だよりの「ダウンロード」をクリック

